

お題 Should high school students wear school uniforms?

思考·判断·表现

1. 日本語で理由を2つメモする(30秒)。英語にするのは、中身が決まってから。

2. 設計図の順に英語にする。1ブロック=1~2文。行が余ってもブロックを飛ばさない。

30秒メモ 日本語でよい。理由を2つ（ここが決まれば、あとは型に流すだけ）

理由1	
理由2	

設計図 この順に書く

1	立場 (1文)	賛成か反対かを1文で。ここで迷いを見せない。
2	理由1 + 具体 (2文)	理由を1つ書き、そのあとに場面を1つ (いつ・どこで・何が)。
3	理由2 + 具体 (2文)	1つ目と別のこと。言いかえ (便利／役に立つ) にしない。
4	譲歩と再反論 (2文)	一度認めてから、それでも、と切り返す。
5	結論 (1文)	立場をもう一度。新しい理由は足さない。

書く 100語くらい 思考・判断・表現

[illegible]

☐ 理由が2つ、別のことになっているか（入れかえても意味が変わらないなら同じ理由）

☐ それぞれの理由に、具体（場面・数・経験）が1つあるか

☐ 相手の言い分にふれて、そのあと切り返しているか

制服は必要か（発展） | モデル答案と採点

モデル 和訳なし（読み上げて型だけ確認する用）

モデルA（反対・101語）
I do not think high school students should have to wear uniforms. First, a uniform cannot follow the weather. On a hot September morning the rule still says blazer, and students sit through first period thinking about the heat instead of the lesson. Second, one design cannot fit every body. A student who does not feel right in a skirt has no quiet way out, and the school notices them every day. Some people say that uniforms hide differences in money, and that is true. However, a simple dress rule can reach the same result without deciding what each student wears.

モデルB（同じ立場・29語） ※直したい答案
I do not think students should wear uniforms. Because it is not free. Students want to wear their own clothes. Uniforms are old and not good for our life.

どこで差がつくか

Aは相手の言い分（制服はお金の差を隠す）を、いったん認めています。それでも主張が弱くならないのはなぜか。
Aは相手の理由を認めたうえで、**その良さは制服でなくても手に入ると示します**（簡単な服装のきまりで同じ結果になる）。反論とは否定ではなく**相手の理由の射程を限定すること**—「それは制服だけの取り柄ではない」と言えれば、認めても立場は残ります。
切り返しの型（発展版だけが足す1文）
・認めるのは弱さではなく強さ。and that is true で受け、However / Even so で切り返し、**相手の理由が成り立たない場面を1つ出す**（条件・例外・代わりの手段）。認めればなしは立場を消します。

つまづき 返ってくる答案の型（誤答例から書いた指導のことは）

理由が2つに見えて、実は1つ	「便利」「役に立つ」は同じことの言い換え。First と Second を入れかえて意味が変わらなければ同じ理由—生徒が自分で判定できます。
For example のあとが抽象のまま	For example, it is useful. は具体ではありません。「いつ・どこで・何が」を1つ。日本語で場面を言わせてから英語にすると速いです。
because でつなぎ続けて1文が伸びる	理由は First / Second で切って1文ずつ。because は1文に1回まで、と決めるだけで構成が見えます。
譲歩を書いて、切り返しを書かない	Some people say ... で終わると、相手の意見を紹介しただけになります。譲歩は「認めて→切り返す」で1セット。

評価 加点式9点（減点式にしない）

最初と最後に、同じ立場が示されている	+2	思判表
理由が2つ、別のこととして立っている	+2	思判表
それぞれの理由に具体（場面・数・経験）がある	+2	思判表
相手の言い分にふれ、切り返している	+2	思判表
通して読んで意味がとれる（細かい誤りは数えない）	+1	知技

定期テストの自由英作に移すときは**内容3・構成3・言語4**の10点が扱いやすい配点です（言語を減点式にすると、書く量を減らした生徒が有利になります）。

40人を回す 週1で書かせても採点で潰れないための手順

- ・30秒メモは必ず取らせる。理由が1つしか出ない生徒が机の上で見えるので、**机間指導はその生徒だけで済みます**。
 - ・全員を毎回添削しない。ペアで「3つの目」を3分 → 教師は**理由が2つ立っているかだけ**を○△で見る（1枚1秒）。
 - ・記号添削は抜き取り8人／回。5回で40人が1周します。返却は、良い答案2本を匿名で映すほうが赤入れより速く効きます。
- 3つの版の使い分け** 論題・書く型・測る力は3版共通で、変えているのは支援の量だけです（基礎＝理由の候補と書き出し語を全部／標準＝立場と譲歩だけ／発展＝型のみ、譲歩に切り返しの1文）。同じクラスで配り分けても、答案は同じ観点で並べて読めます。

